

## 学校だより №9

沼田市立沼田西中学校

令和6年10月16日(水)発行

【学校教育目標】「高い知性、温かい心、たくましい体をもつ生徒の育成」

《目指す生徒像》 ○ **向学 ····**·自ら学ぶ生徒 ○ **礼節 ····**・思いやりのある生徒

○ 進取 ……挑戦する生徒

《目指す学校像》・・・生徒が心から「通いたい」と思える開かれた学校

《目指す教師像》・・・熱意、誠意、愛情のあふれる教師

【本年度の重点目標】主体性と支え合いの発揮~やる気·勇気·根気 3つの基本姿勢~

やる気 … 先の見通しを立て自ら取り組むこと

勇 気 … 正しい判断と思いやりの心をもつこと

根 気… 目標達成に向け諦めずに粘り強く取り組むこと

## 第1回学校評価アンケート結果

ご協力いただきました第1回学校評価アンケートの結果がまとまりましたのでお知らせいたします。各項目の結果を踏まえ、**主体性と支え合いのさらなる発揮**を目指し、職員一丸となって改善策に取り組んでいきますので、今後も本校の教育活動へのご理解とご支援をよろしくお願いいたします。

A·「けい」「どちらかといえばけい」が80%以上 Bは60%以上 Cは60%未満 (9億は90%以上がAとかっています。)

A:「はい」「どちらかといえばはい」が80%以上、Bは60%以上、Cは60%未満(⑨⑮は90%以上がA	Aとなっています。)
具体的数値項目と改善策	第1回
(今回の <b>自己評価がB</b> の具体的数値項目については【改善策】が太字になっています。)	自己評価
①「学校が重点的に取り組んでいることや子供の学校での様子が分かる」と保護者の80	A
%以上が答えている。 	l
【改善策】    ○四本の野畑な砂塘1   東に本事といる	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。 ②学校行事やPTA諸活動に保護者の80%以上が年2回以上参加している。	Λ
②子牧11事で『I A頭位野に休暖年の00000以上が十2回以上参加している。   【改善策】	AA
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
③「授業が分かる」と生徒の80%以上が答えている。	A
【改善策】	
○授業の導入で前時を振り返る時間や学習したことを使って表現する時間を設け、既習事	項の定着を
図る。	<i>t</i> . <i>t</i>
○1単位授業の学習課題を明確に提示することで、生徒が見通しをもち、主体的に授業に	:参加できる
ようにする。	
○生徒同士が対話できるように、教師が生徒の意見をつなぐファシリテーターの役割を担う ④生徒の80%以上が授業に満足感をもっている。	Λ
後主体2.0.0.70次上が12米で同位を終わっている。   【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
⑤生徒の80%以上が毎日家庭学習を行っている。	В
【改善策】	
O家庭学習と授業の繋がりを大切にして、家庭で取り組みやすい課題を出すよう工夫して	ていく。
○課題提出が行えるように個別に声かけや個に応じた支援をしていく。	Δ.
<u>⑥生徒の80%以上が朝読書に進んで取り組んでいる。</u>  【改善策】	A
□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□□	
(7)「相手の立場や気持ちを考えた思いやりのある言動を心がけている」と生徒の80%以	А
上が答えている。	
⑧「学校は悩みやいじめの解消に努めている」と生徒の80%以上が答えている。	В
⑨「いじめはしない、させない、許さない」と生徒の90%以上が答えている。	A
【改善策】	
O継続して生活記録や生活調査などを活用し、生徒の日常観察を充実していく。気に	なる点があ

る場合には、迅速に学年を軸に対応し、全職員で情報共有する。また、生活調査の内 指導委員会を中心に検討し、生徒の悩みや相談を引き出しやすいものにアップデートし	
「相等安員去を中心に検討し、生徒の個みや相談を引き出しやすいものにナッノナード  O生徒自身が「いじめを許さない」という態度や考えをもてるよう、生徒会によるいじぬ	
を推進していく。	, 14, 11T, 1H, 24,1
O各クラスのいじめ防止スローガンについて、学級活動や道徳などの際に取り上げ、生	≟徒への意
識付けを図っていく。   0.55日 ② 2.75まと、 サイ・ス・カー・ス・カー・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	·
○項目®の保護者・生徒の数値は、昨年度の第二回学校評価に比べ改善傾向にあるのの の取組を継続するとともに、SOSの出し方教育の実施時期の変更など新たな取組を行	
□生徒の80%以上が、挨拶・返事等適切な言動ができる。	
【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
①部活動を通して、心身の望ましい成長や人間関係づくりに効果がもたらされていると 4.44 **27.57 *** *** *** *** *** *** *** *** *** *	Α
生徒や保護者の80%以上が答えている。  【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
⑩生徒の80%以上が家で手伝いをしている。	В
【改善策】   ○	
○長期休暇の事前指導や各種便りで、家庭における役割分担の大切さについて指導する  ○道徳の授業を軸に、奉仕や家族愛について学習する際に、家庭の中で自分ができる。	
ひ追憶の技業を輸信、単位で家族変について宇宙する際に、家庭の中で自力ができる。   の役割について考え実践する意欲をもてるよう支援していく。	
③生徒の80%以上が、ボランティア活動や福祉活動等に積極的に参加したり、学校生活	A
の中で困っている人を助けたりして、人の役に立っていると感じている。 【改善策】	
【以音泉】  ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
④生徒の80%以上が清掃活動に真面目に取り組んでいる。	A
【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。 ○ 別は付きの 200 ( ) 以上 ジャブス	
<u> ⑤生徒の90%以上が朝食をとっている。</u> 【改善策】	A
【以音泉】  ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
⑩生徒の80%以上が進んで体力づくりに取り組んでいる。	A
【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。 ②4はの2000によれずいるようでは、2000に関われるとしている。	Δ.
<u> </u>	A
【以音水】  ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
®生徒の80%以上が1日6~9時間の睡眠時間をとっている。	A
【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。 @☆☆☆ **********************************	Δ
⑬学校は、施設・設備の安全や生徒の危機意識や自己防衛能力の育成に努めていると、保護者や生徒の80%以上が答えている。	Α
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
②学校は、通学路の危険箇所の確認や生徒の交通事故防止、不審者への対策等に努めてい	A
<u>ると、保護者や生徒の80%以上が答えている。</u>  【改善策】	
○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
②学級活動における進路学習や総合的な学習の時間の体験活動等を通して、生徒の80%	A
以上が自己の生き方について考えている。  【改善策】	
【以音泉】  ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	
②将来の進路などについて生徒の80%以上が、親子で話し合う機会をもっていると答え	A
ている。	
【改善策】 ○現在の取組を継続し、更に充実させる。	